

ダイオ化成株式会社(単独)

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	7,305,449	流動負債	1,478,343
現金及び預金	630,245	買掛金	687,691
受取手形	531,174	一年以内に返済予定の	
売掛金	1,823,458	長期借入金	180,000
商製品	1,117,452	未払金	420,090
製品	1,636,611	未払費用	52,804
原材料	385,721	未払法人税等	38,277
仕掛品	126,041	預り金	14,252
貯蔵品	49,401	賞与引当金	55,151
前渡金	22,712	先物為替予約	15,258
前払費用	21,836	その他	14,818
関係会社短期貸付金	915,675		
繰延税金資産	28,790	固定負債	281,812
その他	18,153	長期借入金	237,500
貸倒引当金	△ 1,824	長期未払金	3,695
		繰延税金負債	25,617
		その他	15,000
固定資産	4,360,891		
有形固定資産	3,747,271	負債合計	1,760,155
建物	1,500,998	(純資産の部)	
構築物	58,812	株主資本	9,859,150
機械装置	205,843	資本金	300,000
車輜運搬具	6,009		
工具器具備品	46,626	資本剰余金	2,289,805
土地	1,923,981	資本準備金	2,289,805
建設仮勘定	5,000		
無形固定資産	30,044	利益剰余金	7,269,345
ソフトウェア	27,325	利益準備金	120,285
電話加入権	2,718	その他利益剰余金	7,149,060
		別途積立金	4,268,900
投資その他の資産	583,575	特別償却準備金	67,406
投資有価証券	191,863	繰越利益剰余金	2,812,753
関係会社株式	315,614		
破産更生債権等	467	評価・換算差額等	47,034
長期前払費用	27,268	その他有価証券評価差額金	47,034
差入保証金	26,818		
保険積立金	21,256		
その他	755		
貸倒引当金	△ 467		
		純資産合計	9,906,185
資産合計	11,666,340	負債・純資産合計	11,666,340

ダイオ化成株式会社(単独)

I. 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式  
移動平均法による原価法によっております。

その他有価証券  
時価のあるもの…………… 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっております。

時価のないもの…………… 移動平均法による原価法によっております。

(2) デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法によっております。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品及び仕掛品…………… 総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

商品、原材料…………… 主として月別総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)  
及び貯蔵品

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産…………… 主として定率法によっております。

但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物については定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 3～34年  
機械装置 主として7年

(2) 無形固定資産…………… 自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(3) 長期前払費用…………… 均等償却によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金…………… 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金…………… 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理  
税抜方式を採用しております。

II. 当期純利益金額

当期純利益 453,314千円